

平成22年度

教育委員会の活動状況報告書

山梨県教育委員会

## 目 次

まえがき	1
第1 教育委員会の活動状況	2
1 教育委員会会議の開催状況	2
2 一日教育委員会等の開催状況	8
3 その他の活動状況	12
第2 教育行政の点検・評価	14
1 評価の概要	14
2 事務事業自主的評価	15
3 アドバイザー評価（事務事業）	15
4 アドバイザー評価（公共施設）	20
別表1 事務事業自主的評価結果一覧	26
別表2 アドバイザー評価（事務事業）結果一覧	29
別表3 アドバイザー評価（公共施設）結果一覧	30
第3 「やまなしの教育振興プラン」について	31
1 「やまなしの教育振興プラン」の施策体系と主な事業	32
2 「やまなしの教育振興プラン」の進捗状況	38

## まえがき

県教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検・評価を行い、その結果を報告書として取りまとめました。本報告書は、「教育委員会の活動状況」、「教育行政の点検・評価」、「やまなしの教育振興プランの状況について」の3部構成となっております。

近年、ライフスタイルや価値観の多様化、少子高齢化・核家族化、雇用形態の多様化など、教育を取り巻く環境が大きく変化する中であって、子どもの学ぶ意欲や学力・体力の低下、いじめや不登校の増加など、様々な問題が指摘されています。

このような状況を受け、本県教育委員会では、平成21年度から平成25年度までの5年間を計画期間とする「やまなしの教育振興プラン」を策定し、これらの諸課題に取り組んでいるところであります。本報告書の第3部「やまなしの教育振興プランの状況について」は、その計画期間の1年目の点検・評価となっております。

本報告書の結果を踏まえ、本県教育の一層の振興に努めて参りますので、今後も県民の皆様の、御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成23年2月

山梨県教育委員会

## 第1 教育委員会の活動状況

### 1 教育委員会会議の開催状況

平成22年2月1日～平成23年1月末

会議開催回数	
定例会	17回
臨時会	4回
付議事項数	
議案	66件
報告事項	16件
その他報告	29件

平成21年度

第17回定例会（2月9日）

・議案（12件）

「平成21年度2月補正予算概要」

「平成22年度当初予算概要」

「職員の勤務時間に関する規程の一部を改正する訓令」

「職員の勤務時間の特例に関する規程の一部を改正する訓令」

「教育委員会の活動状況報告書について」

「山梨県立大学の公立大学法人への移行に伴う関係条例の整備に関する条例」

「山梨県職員給与条例等の一部を改正する条例」

「動産購入の件」

「山梨県立学校職員の勤務時間に関する規程の一部を改正する訓令」

「職員の処分について」

「山梨県教育委員会の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例」

「山梨県文学館協議会委員の変更について」

・その他報告（3件）

「第65回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の結果について」

「第65回国民体育大会冬季大会スキー競技会の山梨県選手団の編成について」

「平成21年(2009年)「やまなしスポーツ賞」について」

第18回定例会（3月10日）

・議案（5件）

「山梨県教育委員会表彰規則の一部を改正する規則」

「山梨県教育委員会表彰選考委員会規程を廃止する告示」

「山梨県教育委員会安全衛生管理規程の一部を改正する訓令」

「公立小中学校長の人事異動について」

「県立学校長の人事異動について」

- ・ 報告事項 ( 3件)
  - 「公立小中学校教頭の人事異動について」
  - 「指導が不適切な教員について」
  - 「県立学校教頭の人事異動について」
- ・ その他報告 ( 3件)
  - 「平成21年度 山梨ことぶき勸学院・大学院の卒業式について」
  - 「第65回国民体育大会冬季大会スキー競技会の結果について」
  - 「第18回やまなし文学賞について」

#### 第7回臨時会 (3月23日)

- ・ 議 案 ( 1件)
  - 「教育委員会所属長等の人事について」
- ・ 報告事項 ( 1件)
  - 「県立学校事務長等の人事について」

#### 第19回定例会 (3月24日)

- ・ 議 案 (12件)
  - 「山梨県教育委員会事務局及び山梨県教育委員会の所管に属する教育機関の職員の職の設置に関する規則等の一部を改正する規則」
  - 「山梨県総合教育センター管理規則等の一部を改正する規則」
  - 「庁中処務細則の一部を改正する訓令」
  - 「山梨県教育事務所処務規程の一部を改正する訓令」
  - 「山梨県埋蔵文化財センター処務規程の一部を改正する訓令」
  - 「職員の勤務時間に関する規程の一部を改正する訓令」
  - 「技能労務職員の給与に関する規則の一部を改正する規則」
  - 「山梨県立高等学校学則及び山梨県立特別支援学校学則の一部を改正する規則」
  - 「山梨県立学校処務規程の一部を改正する規程」
  - 「山梨県立高等学校の修学旅行、遠足、見学旅行その他の校外行事の基準に関する規則の一部を改正する規則」
  - 「山梨県指定文化財の指定について」
  - 「山梨県銃砲刀剣類登録審査委員の任命について」
- ・ その他報告 ( 3件)
  - 「山梨県教育委員会職員子育て支援プログラムの策定について」
  - 「平成21年度高校改革アンケート調査結果の概要について」
  - 「『やまなし子ども・若者育成指針』の策定について」

#### 第8回臨時会 (3月31日)

- ・ 議 案 ( 1件)
  - 「山梨県立学校授業料、入学科及び入学審査料条例の一部を改正する条例」

## 平成22年度

### 第1回定例会（4月7日）

- ・ 議 案 （ 2件）
  - 「平成22年度山梨県教科用図書選定審議会委員の委嘱・任命について」
  - 「平成22年度山梨県教科用図書選定審議会へ諮問する事項について」
- ・ その他報告 （ 1件）
  - 「平成22年度 山梨ことぶき勸学院・大学院の入学式について」

### 第2回定例会（4月21日）

- ・ 議 案 （ 2件）
  - 「山梨県教育委員会事務局及び山梨県教育委員会の所管に属する教育機関の職員の職の設置に関する規則等の一部を改正する規則」
  - 「職員の処分について」

### 第3回定例会（5月7日）

- ・ 議 案 （ 4件）
  - 「韮崎工業高等学校の学科改編について」
  - 「上野原高等学校の学科改編について」
  - 「北杜高等学校の理数科の廃止と理数コースの設置について」
  - 「平成23年度山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項について」
- ・ 報告事項 （ 1件）
  - 「富士河口湖高等学校の英数コースの廃止について」

### 第4回定例会（5月18日）

- ・ 議 案 （ 2件）
  - 「山梨県特別支援教育振興審議会委員の委嘱・任命について」
  - 「山梨県特別支援教育振興審議会の諮問事項について」
- ・ その他報告 （ 2件）
  - 「平成23年度採用山梨県公立学校教員選考検査実施要項について」
  - 「平成23年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法等一覧について」

### 第1回臨時会（5月25日）

- ・ 議 案 （ 2件）
  - 「山梨県学校職員の勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例」
  - 「山梨県立高等学校学則の一部を改正する規則」
- ・ 報告事項 （ 2件）
  - 「平成22年度公立高等学校入学者選抜学力検査成績調査結果報告書について」
  - 「山梨県立学校授業料、入学料及び入学審査料条例の一部を改正する条例(専決処分に伴う報告及び承認)」

- ・その他報告 (1件)  
「平成22年度やまなし若者地域活性化プロジェクト(ワイワイ(YY)プロジェクト)推進事業の実施について」

#### 第5回定例会(6月30日)

- ・議案 (1件)  
「山梨県スポーツ振興審議会委員の変更について」
- ・報告事項 (2件)  
「平成22年度山梨県教科用図書選定審議会からの答申について」  
「美術資料の寄贈について」
- ・その他報告 (1件)  
「平成22年度韓国忠清北道とのスポーツ交流事業について」

#### 第6回定例会(7月21日)

- ・議案 (2件)  
「職員の処分について」  
「山梨県図書館協議会委員の変更について」
- ・その他報告 (2件)  
「山梨県図書館協議会委員の公募について」  
「山梨県社会教育委員の公募について」

#### 第7回定例会(8月25日)

- ・その他報告 (2件)  
「『やまなしの教育振興プラン』の進行状況について」  
「平成22年度中国四川省とのスポーツ交流事業について」

#### 第8回定例会(9月14日)

- ・議案 (5件)  
「平成22年度9月補正予算概要」  
「非常勤の教育職員の手当支給に関する規程の一部改正について」  
「山梨県立美術館協議会委員の委嘱・任命について」  
「山梨県考古博物館協議会委員の委嘱・任命について」  
「山梨県文化財保護審議会委員の委嘱について」
- ・報告事項 (3件)  
「平成23年度使用山梨県立高等学校用教科用図書採択結果について」  
「平成23年度使用山梨県立特別支援学校用教科用図書採択結果について」  
「平成23年度採用山梨県立学校実習助手、寄宿舎指導員選考検査について」

#### 第9回定例会(10月6日)

- ・議案 (1件)

「職員の処分について」

- ・ 報告事項 (2件)

「平成22年度山梨県教育功労者表彰について」

「平成23年度採用山梨県公立学校教員選考検査について」

#### 第2回臨時会 (10月12日)

- ・ 議案 (2件)

「山梨県社会教育委員の委嘱について」

「山梨県図書館協議会委員の委嘱・任命について」

- ・ 報告事項 (1件)

「平成22年度四川省教育交流推進事業について」

- ・ その他報告 (4件)

「平成22年度中学校卒業予定者の第1次進路希望調査結果の概要について」

「新山梨県立図書館の起工式について」

「第65回国民体育大会(ゆめ半島千葉国体)の結果について」

「平成26年度全国高等学校総合体育大会開催承諾書の提出について」

#### 第10回定例会 (10月21日)

- ・ その他報告 (1件)

「山梨県社会教育委員の提言について」

#### 第11回定例会 (11月1日)

- ・ 議案 (1件)

「平成23年度山梨県公立高等学校等入学者募集定員について」

#### 第12回定例会 (11月17日)

- ・ 議案 (9件)

「平成22年度12月補正予算概要」

「山梨県教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例(給料の額に係る分)」

「山梨県教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例(退職手当に係る分)」

「山梨県学校職員給与条例等の一部を改正する条例」

「山梨県立なかとみ青少年自然の里の指定管理者の指定について」

「山梨県立ゆずりはら青少年自然の里の指定管理者の指定について」

「山梨県緑が丘スポーツ公園の指定管理者の指定について」

「山梨県釜無川スポーツ公園の指定管理者の指定について」

「山梨県立本栖湖青少年スポーツセンターの指定管理者の指定について」

#### 第13回定例会 (12月22日)

- ・ 議案 (2件)

「山梨県指定文化財の指定について」



「山梨県指定文化財の指定解除について」

・ 報告事項 (1件)

「平成23年度採用山梨県立学校実習助手(農業、工業、商業、理科)及び山梨県立特別支援学校寄宿舎指導員選考検査結果について」

・ その他報告 (2件)

「『やまなしの教育振興プラン』の進行状況について」

「平成23年県下市町村の『成人式』について」

第14回定例会(1月5日)

・ その他報告 (4件)

「平成22年度中学校卒業予定者の第2次進路希望調査結果の概要について」

「平成23年度山梨県公立高等学校全日制課程における再募集の検査方法について」

「第66回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の山梨県選手団の編成について」

「『平成22年度山梨県新体力テスト・健康実態調査』調査結果の概要について」

## 2 一日教育委員会等の開催状況

### (1) 一日教育委員会（教育懇談会）

#### ①平成22年度第1回一日教育委員会（教育懇談会）

平成22年8月10日に、上野原市の上野原市文化ホールにおいて「平成22年度第1回一日教育委員会（教育懇談会）」を開催しました。

会場には、富士・東部教育事務所管内のPTA関係者など県民約100名が訪れました。県の教育委員会からは、6名の教育委員をはじめ、各課室長、富士・東部教育事務所長が出席しました。

須田教育委員長の挨拶のあと、松土教育長から「平成22年度主要施策の概要」の説明があり、その後、意見交換が行われました。

参加された方々からは、

「高等学校の統廃合について」

「地域の高等学校の商業科について」

「少人数学級について」

「特別支援学校の児童生徒数の増加への対応について」

「親離れ・子離れについて」

など様々な意見が出されました。

教育委員会では、皆様からのご意見を今後の教育行政に活かしていくこととしています。

【H22年8月10日】

<一日教育委員会（教育懇談会）の様子>



②平成22年度第2回一日教育委員会（教育懇談会）

平成22年9月9日に、身延町中富総合会館において「平成22年度第2回一日教育委員会（教育懇談会）」を開催しました。

会場には、峡南教育事務所管内のPTA関係者など県民約100名が訪れました。県の教育委員会からは、6名の教育委員をはじめ、各課室長、峡南教育事務所長が出席しました。

須田教育委員長の挨拶のあと、松土教育長から「平成22年度主要施策の概要」の説明があり、その後、意見交換が行われました。

参加された方々からは、

「山梨県の商業高校について」

「地域の社会教育について」

「社会教育関係団体について」

「中学生の卒業について」

「特別支援学校の通学バスについて」

「地域の活性化について」

など様々な意見が出されました。

教育委員会では、皆様からのご意見を今後の教育行政に活かしていくこととしています。

【H22年9月9日】

<一日教育委員会（教育懇談会）の様子>



(2) 児童生徒と語る一日教育委員会

①平成22年度第1回児童生徒と語る一日教育委員会

平成22年度第1回児童生徒と語る一日教育委員会を北杜市立泉小学校で開催しました。当日は教育委員が、3～6年生の各教室にて講話や意見交換を行いました。

その概要は以下のとおりです。

ア 実施日

平成22年7月8日午前11時05分～

イ 参加者

北杜市立泉小学校児童、教職員、及び県教育委員

ウ 概要

教育委員が3～6年生の5クラスにそれぞれ1人ずつ別れ、各教室で以下の題名で、講話を行い、その内容に沿って意見交換が行われました。

講話した委員名	テーマ
須田委員長	得意教科と不得意教科
渡邊委員長職務代理者	かたちとところ
久保嶋委員	信じる力
小林委員	みんなで考える環境のこと
高野委員	楽しく生きよう！

その後、児童からは、

「一つでも苦手な教科があると他のことも伸びないので、苦手な教科を克服するよう頑張りたい。」

「心の中の思いを表すとき、相手の気持ちをよく考えて表したいと思った。」

「形で表せなくても、心で伝えられるということがわかった。」

「心で伝えられるのは素敵なことだと思った。」

「相手のことをよく考えられるような生活をしていきたい。」

「今日の話を聞いて、私もスケートをしているので、がんばろうと思った。」

等様々な意見が聞かれました。

<児童生徒と語る一日教育委員会の様子>



## ②平成22年度第2回児童生徒と語る一日教育委員会

平成22年度第2回児童生徒と語る一日教育委員会を山梨市立山梨南中学校で開催しました。当日は教育委員が、1～2年生の各教室にて講話や意見交換を行いました。

その概要は以下のとおりです。

### ア 実施日

平成22年11月11日午前11時45分～

### イ 参加者

山梨南中学校生徒、教職員、及び県教育委員

### ウ 概要

教育委員が1～2年生の5クラスにそれぞれ1人ずつ別れ、各教室で以下の題名で、講話を行い、その内容に沿って意見交換が行われました。

講話した委員名	テーマ
渡邊委員長	ことばとところ
久保嶋委員長職務代理者	仕事の楽しみ
小林委員	自分で出来る環境の取り組み
高野委員	変化への対応
杉原委員	すばらしき笛吹川

その後、生徒からは、

「私もこれから委員会など一生懸命やりたと思った。」

「知らない笛吹川の上流やそこに生息している鳥たちや植物がみられて良かった。」

「二つの川を渡って通学しているが、雨の後など水が増えていて自然のすごさを感じる」等の意見が聞かれました。

### <児童生徒と語る一日教育委員会の様子>



### 3 その他の活動状況

平成22年

- 2月 1日 文学館展示室リニューアルオープン式典 <出席者：須田委員長>
- 2月 3日 博物館企画展 <出席者：須田委員長>  
・「世界遺産アンコールワット展  
ーアジアの大地に咲いた神々の宇宙ー」
- 2月13日 博物館観覧者50万人達成記念セレモニー <出席者：須田委員長>
- 2月26日 県市町村教育委員連合会定期総会・春季研修会 <出席者：渡邊委員長職務代理者>
- 3月16日 やまなし文学賞表彰式 <出席者：須田委員長>
- 3月18日 ことぶき勸学院・大学院入学式 <出席者：須田委員長>
- 3月19日 科学館リニューアルオープン式典 <出席者：須田委員長>
- 4月 8日 笛吹高等学校開校式 <出席者：須田委員長>
- 4月 9日 美術館企画展 <出席者：須田委員長>  
・「愛のヴィクトリア・ジュエリー展 華麗なる英国のライフスタイル」
- 4月16日 ことぶき勸学院・大学院入学式 <出席者：須田委員長>  
博物館企画展 <出席者：渡邊委員長職務代理者>  
・「チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展」
- 4月30日 文学館企画展 <出席者：須田委員長>  
・「山崎方代 右左口はわが帰る村」
- 5月12日 1都9県教育委員会全委員協議会  
～13日 ・出席者：全委員  
・開催地：山梨県富士吉田市  
・議題等：「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの  
効果的な活用について」ほか
- 5月22日 都留高等学校創立110周年記念式典 <出席者：須田委員長>
- 5月24日 山梨県特別支援教育振興審議会 <出席者：須田委員長>
- 6月 4日 県高等学校定通教育振興会・県高等学校PETA連絡協議会総会  
<出席者：渡邊委員長職務代理者>
- 6月 5日 山梨県PETA協議会定期総会 <出席者：須田委員長>
- 6月11日 高等学校定通教育振興会関東支部代表者会議・研究協議会山梨大会  
<出席者：久保嶋委員>
- 6月19日 美術館企画展 <出席者：須田委員長>  
・「池田 龍雄展 アヴァンギャルドの軌跡」
- 7月 1日 第33次山梨県四川省友好訪中団結団式<出席者：須田委員長>
- 7月 8日 教育関連施設視察  
・平山郁夫シルクロード美術館 <出席者：全委員>
- 7月13日 全国都道府県教育委員会連合会平成22年度第1回総会等  
～14日 ・出席者：須田委員長  
・開催地：和歌山県  
・議題等：「青少年の実態に向き合う学校・家庭・地域の在り方と  
教育行政の支援について」ほか
- 7月16日 博物館企画展 <出席者：須田委員長>  
・「近くて懐かしい昭和展」
- 7月25日 美術館・文学館特別展/UTY教育美術展表彰式  
・「くじらぐもからチックタックまで  
ー小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展ー」  
<出席者：須田委員長>

- 7月27日 国民文化祭山梨県実行委員会 <出席者：須田委員長>
- 8月 2日 第33次山梨県四川省友好訪中団 <出席者：須田委員長>  
～ 8日
- 8月10日 教育関連施設視察  
・ゆずりはら青少年自然の里 <出席者：全委員>
- 8月16日 平成23年採用教員面接試問 <出席者：全委員>  
～18日
- 9月 2日 1都9県教育委員会委員長協議会  
～3日  
・出席者：須田委員長  
・開催地：茨城県  
・議題等：「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に向けた  
取組について」ほか
- 9月 3日 美術館企画展 <出席者：渡邊委員長職務代理者>  
・「フェリックス・ティオリエ写真展  
ーいまよみがえる19世紀末ビクトリアリズムの写真家ー」
- 9月 9日 教育関連施設視察  
・なかとみ和紙の里 <出席者：全委員>
- 9月16日 国体選手団結団壮行式 <出席者：須田委員長>
- 9月17日 文学館企画展 <出席者：須田委員長>  
・「井伏鱒二と飯田龍太」
- 9月24日 第65回国民体育大会 <出席者：須田委員長>  
～26日
- 10月 8日 考古博物館特別展 <出席者：須田委員長>  
・「発掘された女性の系譜  
～女性・子ども・家族の造形～」  
博物館特別展 <出席者：渡邊委員長職務代理者>  
・「甲斐源氏一列島を駆ける武士団」
- 10月13日 渡邊委員 委員長就任
- 10月23日 中央高等学校創立40周年記念式典 <出席者：久保嶋委員長職務代理者>
- 10月29日 美術館企画展 <出席者：渡邊委員長>  
・「小林一三の世界一逸翁美術館の名品を中心に」
- 10月29日 平成22年度都道府県指定都市新任教育委員研究協議会  
<出席者：高野委員、杉原委員>
- 11月 1日 平成22年度山梨県教育功労者表彰式 <出席者：全委員>
- 11月10日 新県立図書館安全祈願祭・起工式 <出席者：渡邊委員長、久保嶋委員長職務代理者>
- 11月11日 教育関連施設視察  
・ろう学校 <出席者：全委員>
- 11月15日 山梨県文化賞表彰式 <出席者：渡邊委員長>
- 平成23年
- 1月 5日 平成23年度採用校長面接試問 <出席者：全委員>  
～7日
- 1月12日 平成23年度採用教頭面接試問 <出席者：全委員>  
～14日
- 1月14日 冬季国体スケート競技・アイスホッケー競技結団壮行式 <出席者：渡邊委員長>
- 1月24日 全国都道府県教育委員会連合会平成22年度第2回総会等 <出席者：渡邊委員長>  
開催地：東京都

## 第2 教育行政の点検・評価

### 1 評価の概要

#### (1) 趣旨

県教育委員会では、①成果を重視した県民本位の行政の推進、②限られた財源や人材の効果的効率的な活用、③県民に対する説明責任の徹底を目的とし、所管する施策・事業の効果や目的達成度を点検・評価する。

#### (2) 対象

事務事業自主的評価の対象は、平成22年度当初予算に計上された事業のうち、人件費・扶助費などの義務的経費、庁舎等の維持管理経費等に係る事業を除く60事業とする。

また、アドバイザー評価については、外部有識者による山梨県行政評価アドバイザー会議が選定した事務事業の3事業及び公共施設の3施設とする。

#### (3) 評価方法

評価は「事務事業自主点検シート」により、事業担当課室が自主的に事務事業の点検を行うことを基本とし、そのうちアドバイザー評価に係る事務事業及び公共施設を公開で外部評価する。

評価の時点については、原則として平成21年度末現在とするが、評価に当たっては平成22年度上半期の実績等も勘案する。

#### (4) 評価基準

##### ① 活動量

「事業の目的」を達成するために行った取り組みが、予定された活動量を上げているかを評価するため、活動指標達成率に基づく数値判定を行う。

- a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。
- b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。
- c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。
- d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

##### ② 成果

「事業の目的」を達成するために行った取り組みが、意図した成果を上げているかを評価するため、成果指標達成率に基づく数値判定を行う。ただし、成果を定量的に指標化することが困難な場合には、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断する。



- a：意図した成果を十分に上げている(120%以上)。
- b：意図した成果はほぼ上げている(80%以上 120%未満)。
- c：意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上 80%未満)。
- d：意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

## 2 事務事業自主的評価

### (1) 評価の概要

評価を行った60事業のうち、「予定を超えた活動量がある。」とした事業は5事業、「予定どおりの活動量がある。」とした事業は53事業、「予定したほど活動量がない。」とした事業が1事業及び「予定した活動量に著しく足りない。」とした事業が1事業であった。

また、「意図した成果を十分に上げている。」とした事業は2事業、「意図した成果はほぼ上げている。」とした事業が57事業、「意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める。」とした事業が1事業であり、「意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない。」とした事業は該当がなかった。

このうち、「他事業と統合」、「実施方法等の変更」など、見直しの必要性が「有」の事業は、21事業となった。

(26頁 別表1「事務事業自主的評価結果一覧」のとおり。)

## 3 アドバイザー評価(事務事業)

### (1) 児童生徒キャリア育成推進事業費 <義務教育課>

#### ① 事業内容

小・中・高等学校・特別支援学校の教育活動をキャリア教育の視点から見直し、12年間を見通したキャリア教育の指導体制を整備する事業として、平成21年度から実施している。

小・中・高キャリア教育推進会議による小・中・高等学校における一貫したキャリア教育の推進の在り方の検討、3年間で公立小・中・高等学校・特別支援学校にキャリア教育アドバイザー(推進中核教員)1名を養成する研修の実施、「キャリア教育推進手引き」3,300部を作成し、県内国公立小・中・高・特別支援学校、各市町村(組合)教育委員会等への配布等を行っている。

また、昭和町の押原小・押原中、甲府昭和高等学校を研究協力校に指定し、小・中・高等学校が連携して体系的にキャリア教育を行う実践研究を実施している

#### ② 活動量

活動指標は、キャリア教育アドバイザー養成研修者数及びキャリア教育推進手引き

の作成・配付部数としており、平成21年度は養成研修者数111人（目標：111人）、手引きの作成・配布部数は3,300部（目標：3,300部）であったため、「予定どおりの活動量がある。」ことから、評価は「b」とした。

③ 成果

成果指標は、キャリア教育アドバイザー養成研修終了者が学校現場において具体的な取り組みを行った校数としており、平成21年度の取り組み校数は111校（目標：111校）であったため、「意図した成果はほぼ上げている。」ことから、評価は「b」とした。

④ これまでの事業の見直し・改善状況

平成21年度からの事業のため、これまでの事業の見直しや改善の状況はない。

⑤ アドバイザー（外部有識者3名）による評価

○アドバイザー1：現行どおり

（説明） 事業の目的や方法自体がよく理解できなかった。よって、正確には「評価不能」とすべきだと思うが、該当する評価区分がないので、暫定的に「現行どおり」とした。

○アドバイザー2：要改善

（説明） 民間人の活用等を視野にスピード感をもって対応したらどうか。

○アドバイザー3：廃止

（説明） キャリア教育自体に対して、抽象的で具体的な施策が見えない現状から、事業を推進すべき結論が得られない。

⑥ 知事政策局による評価（追加・修正意見等の有無）

追加・修正意見等あり。

（説明） 本事業の実施にあたっては、事業の目的と具体的な内容を明確にし、より効果的な事業執行が図られるよう検討すること。

⑦ 見直しの方向

縮小。

（具体的な方向等） 本事業の目的、内容について、研修等の機会において再認識を図る。併せて、経費を精査し、効率化を図る。

(2) 海外派遣研修費（研修指導者養成）事業費 <義務教育課>

① 事業内容

公立小・中学校、県立高等学校、特別支援学校の教員を独立行政法人教員研修センターが実施する「教育課題研修指導者海外派遣プログラム」に派遣する事業として、昭和48年度から実施している。

派遣期間は約2週間であり、研修者は本県の教育現場が抱える重要な教育課題10テーマから研修テーマを選択し、訪問国の教育関係機関・団体等における調査・情報収集及び学校視察による教職員、児童・生徒等との意見交換や情報収集により、本県が抱える教育諸問題に対する識見や指導力を身に付け、研修後は習得した技術や知識を現場教員等に伝達・還元する中核的な指導者の役割を担う。

1人当たりの研修費用内訳

- ・独立行政法人教員研修センターからの補助：20万円
- ・山梨県教育委員会からの補助：10万円（事前及び事後研修会の旅費等別途支給）
- ・自己負担：一人当たり 188,933円（平均）

② 活動量

活動指標は、派遣人数としており、平成21年度の派遣人数は20人（目標：20人）であったため、「予定どおりの活動量がある。」ことから、評価は「b」とした。

③ 成果

成果指標は、研修終了後、授業や教員の研修会の中で研修成果を生かした実践を行った研修者の人数及び所属校長が、研修後に成果があったと認めた人数割合（学校長聞き取り調査）としており、平成21年度の研修成果を生かした実践を行った研修者の人数は20人（目標：20人）であり、所属校長が、研修後に成果があったと認めた人数割合は100%（目標：100%）であったため、「意図した成果はほぼ上げている。」ことから、評価は「b」とした。

④ これまでの事業の見直し・改善状況

平成17年度から派遣人数を51人から20人に見直し、平成19年度からは派遣日数を16日から12日に短縮し、平成21年度からは研修の出発及び帰国時の国内旅費について見直しを行い、経費の節減を図っている。

⑤ アドバイザー（外部有識者3名）による評価

○アドバイザー1：廃止

（説明） 40年近く継続されてきた研修であり、国際比較という広い視野から教育課題を解決する方法として一定の歴史的成果はあったと思われる。

しかし、今までどおりの集団派遣を継続する意義は非常に薄れているといえる。本県の抱える教育課題を解決するために真に海外研究が不可欠であるならば、研究テーマと成果を明確にして最もそれに相応しい人材をより長期に派遣する等の別の有効な方法で実行すべきである。

○アドバイザー２：廃止

(説明) 永年、経常的に実施してきた事業でややマンネリ化の傾向がみえる。必要あればスポットで対応したらどうか。

○アドバイザー３：要改善

(説明) 目的が「教育課題の解決」となると目的の達成手段としては、不適當であると思われるが、諸外国の教育現場の実情を肌で体験できるという側面からは、意義が認められる。事業内容を見直し実情の目的に合ったものとすべきである。

⑥ 知事政策局による評価（追加・修正意見等の有無）

追加・修正意見等あり。

(説明) スタート（S48）から37年が経過し、インターネットの普及など社会情勢・環境が大きく変化していく中で、海外派遣を継続する意義は薄れていると思われる。したがって本事業は廃止について検討すること。

⑦ 見直しの方向

実施方法等の変更。

(具体的な方向等) 現地で直接得る情報も有効であることから、具体的に本県が解決しなければならない教育課題に対し、重点的に派遣を行う課題を見直し、その成果について計画の立案等に生かすとともに、地域の中心的な人材として活用する。

また、派遣者の選定方法についても見直しを行う。

(3) 英語教員海外派遣研修（2ヵ月）事業費<義務教育課>

① 事業内容

公立中学校、県立高等学校、特別支援学校の英語を担当する教員を、独立行政法人教員研修センターが実施する教職員海外派遣（2ヵ月）に派遣する事業として、昭和43年度から実施している。

派遣期間は約2ヵ月間であり、研修者はホームステイ等をしてしながら、派遣先大学・教育機関において英語教育に関する指導法等についての実践的研究、専門的授業を行い、また、実生活を通して確かな知識の修得や指導力を身につけ、研修後は習得した技術や知識を現場教員等に伝達・還元する中核的な指導者の役割を担う。

#### 1人当たりの研修費用内訳

- ・独立行政法人教員研修センターからの補助：上限90万円
- ・山梨県教育委員会からの補助：上限80万円（事前研修会の旅費等別途支給）
- ・自己負担：10万円

#### ② 活動量

活動指標は、派遣人数としており、平成21年度の派遣人数は中学校英語教員1人（目標：1人）及び高等学校英語教員1人（目標：1人）であったため、「予定どおりの活動量がある。」ことから、評価は「b」とした。

#### ③ 成果

成果指標は、研修終了後、授業や教員の研修会の場で研修成果を生かした実践を行った研修者の人数、所属校長が研修後に成果があったと認めた人数割合（学校長聞き取り調査）としており、平成21年度の研修成果を生かした実践を行った研修者の人数は2人（目標：2人）であり、所属校長が、研修後に成果があったと認めた人数割合は100%（目標：100%）であったため、「意図した成果はほぼ上げている。」ことから、評価は「b」とした。

#### ④ これまでの事業の見直し・改善状況

平成18年度から研修者に自己負担を求め、平成21年度からは研修の出発及び帰国時の国内旅費について見直しを行い、経費の節減を図っている

#### ⑤ アドバイザー（外部有識者3名）による評価

##### ○アドバイザー1：要改善

（説明） ホームステイなどを体験することは、言語の背景にある文化や習慣、社会制度の違いなどを生活現場で肌で感じる事のできる機会として、単なる語学研修以上に有効であると思う。ただし、派遣者の選抜方法の公正さを向上する必要があると同時に、修了後の波及効果が最大になるよう運用方法の改善を図るべきである。

##### ○アドバイザー2：要改善

（説明） 英語実践力強化の観点から研修終了者の更なる効果的活用等を検討したらどうか。

##### ○アドバイザー3：要改善

（説明） 研修希望者を学校側から募るなど、現状の選抜方法を見直す必要があると思われる。

⑥ 知事政策局による評価（追加・修正意見等の有無）

追加・修正意見等あり。

（説明） 公募による派遣者の選定、研修終了者の効果的な活用方法について検討をすること。

⑦ 見直しの方向

実施方法等の変更。

（具体的な方向等） 派遣者の選定方法について見直す。

（29頁 別表2「アドバイザー評価（事務事業）結果一覧」のとおり。）

#### 4 アドバイザー評価（公共施設）

##### (1) 美術館 <学術文化財課>

###### ① 施設の役割（運営目標）

- ・美術に関する県民の知識を深め、教養の向上を図るための美術品等を収集、保管、展示する。
- ・美術に関する講演会・講座・体験イベント等を開催し、美術に親しみ、理解を深める機会を提供する。
- ・小中学校・高等学校等と連携し、美術に関する学校教育を支援する。
- ・県民が美術等に関する活動を自主的に行える場を提供する。

###### ② 活動量

活動指標は、開館日数及び事業開催回数（常設展、特別展、教育普及事業）としており、平成21年度は開館日数が309日（目標：309日）、事業開催回数は、常設展が通年開催（目標：通年開催）、特別展が6回（目標：5回）、教育普及事業が118回（目標：126回）であったため、「予定どおりの活動量がある。」ことから、評価は「b」とした。

###### ③ 成果

成果指標は、利用者数（人）としており、平成21年度の利用者数（人）は常設展が117,250人（目標：118,000人）、特別展が57,803人（目標：68,000人）、教育普及事業が21,225人（目標：22,800人）、合計で196,278人（目標：208,800人）であったため、「意図した成果はほぼ上げている。」ことから、評価は「b」とした。

###### ④ これまでの事業の見直し・改善状況

平成21年度からの指定管理者制度導入により、効率的な管理運営、利用者サービ

スの向上が図られ、また、指定管理者との連携を強化して、積極的な広報活動の展開を行っている。

⑤ アドバイザー（外部有識者3名）による評価

○アドバイザー1：現行どおり

（説明） 現行どおり継続とする。ただし、毎年4億円余の県費の持ち出しがある現実を踏まえ、なお一層県民の理解を得る努力は不可欠である。

美術館ボランティア活動などの参加者・協力者との連携などがこれまで以上に機能し、「私たちの美術館」意識がより多くの県民に浸透するよう努力されたい。

○アドバイザー2：現行どおり

（説明） 指定管理者との連携強化により更なる来館者数の増加策を検討したらどうか。

○アドバイザー3：要改善

（説明） 入場者アンケートの数が少ないので多く収集可能なように努め、利用者のニーズに応えホスピタリティーのさらなる向上に役立てほしい。

文学館との交流など各種イベントを企画し、来場者の一層の増加を期待する。

施設管理に係る指定管理者が締結する各種契約に関して、県が広く公平に（諸管理費など）契約がされているかチェックすべきである。

⑥ 知事政策局による評価（追加・修正意見等の有無）

追加・修正意見等あり。

（説明） 特別展の観覧者が減少したことなどから特別展、教育普及事業など美術館開催事業について、これまで以上に県民ニーズを反映させる必要がある。

⑦ 見直しの方向

実施方法等の変更。

（具体的な方向等）◇指定管理者と連携した更なる来館者数の増加に向けた取り組みを行う。

- ・アンケートの充実（項目の充実・客体の増加）
- ・多様な広報活動展開（ラッピングバス、温泉組合との連携等）
- ・窓口対応の向上（スキルアップ研修等）

## (2) 博物館 <学術文化財課>

### ① 施設の役割 (運営目標)

- ・本県の歴史、民俗等に関する県民の知識を深め、教養の向上を図るための歴史、民俗資料等の調査研究・収集・保管・展示を行う。
- ・本県の歴史、民俗等に関する講演会・講座・体験イベント等を開催し、本県の歴史、民俗等に親しみ理解を深める機会を提供する。
- ・県内の他の博物館やNPO法人等と連携した共同事業等、館外事業を実施する。
- ・小、中、高等学校等と連携し、本県の歴史、民俗等に関する学校教育を支援する。

### ② 活動量

活動指標は、開館日数及び事業開催回数(常設展、特別展)としており、平成21年度は開館日数が302日(目標:302日)、事業開催回数は、常設展が通年開催(目標:通年開催)、特別展が4回(目標:4回)であったため、「予定どおりの活動量がある。」ことから、評価は「b」とした。

### ③ 成果

成果指標は、利用者数(人)としており、平成21年度の利用者数(人)は常設展利用者が59,508人(目標:75,000人)、特別展が59,780人(目標:25,000人)、施設内事業利用者が25,786人(目標:20,383人)、館外事業利用者が5,246人(目標:1,283人)、合計で150,320人(目標:121,666人)と目標に対して123.6%と高い達成率であり評価は「a」となるが、常設展利用者が目標の79.3%という結果を考慮して、「意図した成果はほぼ上げている。」として評価を「b」とした。

### ④ これまでの事業の見直し・改善状況

マスコミとの連携による広報強化等の運営努力により、常設・特別展示観覧者数は前年度に比べて高い利用者数を獲得した。利用者をはじめとする外部からの意見を適宜、運営に反映させながら、質の高い利用者サービスの維持に努めている。

### ⑤ アドバイザー(外部有識者3名)による評価

#### ○アドバイザー1:要改善

(説明) 県立博物館は、その設置の賛否をめぐる過去の経緯を背負った複雑な県民感情の対象であるという歴史を免れない。それだけになお一層県民の理解と協力を得る努力が必要不可欠である。

その第一に利用者・来館者をさらに増やす創意工夫が必要。第二に運営コストの縮減についてサービスや研究機能の水準を下げずこれまでの



常識に囚われない一層の創意工夫が求められる。たとえば、「総合教育センター」との「総務部門」の共有化や維持管理コストの大きな園庭のリストラなど、博物館の本来的業務以外の思い切ったコスト削減などを検討すべきである。

○アドバイザー２：要改善

- (説明)
- ・考古博物館との運営の連携により管理コストの削減を検討したらどうか。
  - ・庭園管理等、維持管理コストの削減及び来館者増加策等抜本的経営改善に向けプロジェクトチーム等設置し検討したらどうか。

○アドバイザー３：要改善

- (説明) 博物館は利用者数が伸び悩んでおり、利用者一人当たりの県費投入額も2,801円と比較的高額となっている。年間4億円超の県費が投入されることを考えると、少しでも経費削減が望まれるところである。県民の理解を得るためにも不必要な管理コストをできる限り削減することが望まれる。

⑥ 知事政策局による評価（追加・修正意見等の有無）

追加・修正意見等あり。

- (説明) 博物館の維持管理には多額の経費を要することから、効率的かつ効果的な管理運営に取り組み、施設全体としての経費削減が不可欠である。
- 特に、庭園管理については思い切った見直しを図るとともに、他の施設との経費節減策の共有や効率的な事業実施により、一層の経費節減に努めること。

⑦ 見直しの方向

実施方法等の変更。

(具体的な方向等) ◇管理運営経費削減に向けた取り組みを行う

- ・外部委託のうち、単年度契約である植栽管理委託については、仕様の見直し等を行い契約金額を引き下げる。
- ・他の外部委託については長期継続契約となっているため更新期(H24年度以降)に併せ、契約額の引き下げを予定。

◇総合教育センター、考古博物館との総務部門機能共有化等の検討を行う

- ・総務課、学術文化財課、総合教育センター、考古博物館、博物館の5者で内部検討会を組織し、年度内を目途に方向性を出す。

### (3) 考古博物館 <学術文化財課>

#### ① 施設の役割 (運営目標)

- ・原始古代文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図るための考古資料を収集・保管・展示する。
- ・原始古代文化に関する講座、体験イベント等を開催し、原始古代文化に親しみ理解を深める機会を提供する。
- ・小中学校、高等学校等と連携し、原始古代文化に関する学校教育を支援する。

#### ② 活動量

活動指標は、開館日数及び事業開催回数(常設展、特別展、企画展、主催事業)としており、平成21年度は開館日数が290日(目標:290日)、事業開催回数は、常設展が通年開催(目標:通年開催)、特別展が1回(目標:1回)、企画展が6回(目標:6回)、主催事業が60回(目標:60回)であったため、「予定どおりの活動量がある。」ことから、評価は「b」とした。

#### ③ 成果

成果指標は、入館者(利用者)数(人)としており、平成21年度の入館者(利用者)数(人)は60,960人(目標:62,400人)であったため、「意図した成果はほぼ上げている。」ことから、評価は「b」とした。

#### ④ これまでの事業の見直し・改善状況

体験型の学習メニューを充実させるなど、県民ニーズに応えた事業を展開している。

また、限られた予算の中、職員の企画力を活かしたイベントを実施することにより、費用対効果を上げる努力を続けている。

#### ⑤ アドバイザー(外部有識者3名)による評価

##### ○アドバイザー1:現行どおり

(説明) 現行どおり継続とする。ただし、周辺の古墳群・曾根丘陵公園などの一体となった区域の魅力について、関係部局と連携し更なるPRに努める必要がある。また、古代史教育の拠点としてこれまで以上に博学連携に努め、特に県内全小学校が常設展の観覧や体験実習に参加するよう計画的な働きかけを行うべきである。

##### ○アドバイザー2:要改善

(説明) ・博物館との運営の連携により管理コストの削減を検討したかどうか。  
・曾根丘陵公園との一体的活用を図ったかどうか。

○アドバイザー3：要改善

(説明) 曾根丘陵公園は銚子塚や丸山塚などの古墳を配し、その特徴から比較的多くの利用者実績がある。その中に位置する考古博物館は県直営で運営されているが、曾根丘陵公園は民間会社に指定管理者制度のもと委託されている。考古博物館自体の入場者は多いとは言えず、今後は、公園の管理者と協力して、公園と一体となった各種イベントの開催など、集客方法に一層のアイデアをだす必要がある。

⑥ 知事政策局による評価（追加・修正意見等の有無）

追加・修正意見等あり。

(説明) 引き続き、施設利用者の増加に取り組む必要がある。

このため、曾根丘陵公園との連携強化やこれまで以上に学校教育との連携（博学連携）を推進し、より多くの学校に施設を活用してもらえよう、積極的な働きかけに努めること。

⑦ 見直しの方向

実施方法等の変更。

(具体的な方向等) ◇曾根丘陵公園と一体となった集客向上に向けた取り組みを行う

- ・公園管理を所管している県土整備部と連携した集客イベントを開催し集客向上を図る。

(30頁 別表3「アドバイザー評価（公共施設）結果一覧」のとおり。)

別表1

## 事務事業自主的評価結果一覧

区 分		活動量と 成果の判断		見直しの 必要性
※( )内の比率は数値判定の基準。「活動量と成果の判断」は、数値判定に対し、更に担当 課室が各種要因等を総合的に勘案し、aからdを選択。		活動量	成果	有
a	活動量: 予定を超えた活動量がある(120%以上) 成 果: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)	5	2	21 (35.0%)
b	活動量: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) 成 果: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)	53	57	
c	活動量: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満) 成 果: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成 果の向上が見込める(40%以上80%未満)	1	1	
d	活動量: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満) 成 果: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない (40%未満)	1	0	
計		60	60	

No.	担当課	細事業名	H22当初 予算額 (千円)	活動量と 成果の判断		見直しの 必要性
				活動量	成果	有無
1	総務課	広報誌発行経費	3,176	b	b	
2	総務課	一日教育委員会開催費	196	b	b	
3	総務課	教育研修費	3,102	b	b	有
4	総務課	教育相談事業費	16,091	b	b	
5	学校施設課	産業教育設備整備費	47,149	b	b	
6	義務教育課	帰国子女等教育指導費	213	b	b	
7	義務教育課	小学校理科支援員等配置事業費	13,000	b	b	有
8	義務教育課	確かな学力・ステップアップ事業費(県費)	500	a	b	有
9	義務教育課	小中学校生徒指導研究協議会開催費	185	b	b	
10	義務教育課	保護者のための不登校研修会開催費	138	a	b	
11	義務教育課	スクールカウンセラーネットワーク事業費	454	b	b	
12	高校教育課	学校教育指導重点作成費	1,082	b	b	
13	高校教育課	新教育課程実践研究事業費	341	b	b	
14	高校教育課	教育情報ネットワーク整備事業費	82,461	b	b	有
15	高校教育課	スーパー専門高校モデル事業費	1,000	b	b	
16	高校教育課	新産業技術等職業高校教員研修費	1,746	b	b	有
17	高校教育課	農工商・理科視聴覚実習助手認定講習会費	100	b	b	
18	高校教育課	実技講習会費(商業・農業・工業)	200	a	b	有
19	高校教育課	定時制高等学校生徒指導費	337	b	b	
20	高校教育課	巡回教育相談費	142	b	b	

No.	担当課	細事業名	H22当初 予算額 (千円)	活動量と 成果の判断		見直しの 必要性
				活動量	成果	有無
21	高校教育課	高等学校文化活動推進助成費補助金	6,000	b	b	
22	高校教育課	教員研修事業費	292	b	b	有
23	高校教育課	ハイスクールガイド作成費	1,890	b	b	
24	高校教育課	特別支援教育概況・指導集録発行事業費	305	b	b	
25	高校教育課	育英奨学金運営費補助金	10,840	b	b	有
26	社会教育課	青少年保護育成のための環境浄化に関する条例の運用費	745	b	b	
27	社会教育課	やまなし青少年社会環境健全化推進会議費	437	b	b	
28	社会教育課	子どもの読書活動推進事業費	164	b	b	
29	社会教育課	父親を考えるフォーラム開催事業費	1,260	b	b	有
30	社会教育課	幼児教育放送「子育て日記」放映事業費	8,351	b	b	
31	社会教育課	青少年長期自然体験活動事業費	2,570	b	b	有
32	社会教育課	やまなし若者地域活性化プロジェクト推進事業費	2,400	b	b	
33	社会教育課	ことぶき勸学院運営費	10,563	b	b	有
34	社会教育課	ことぶき勸学院大学院・甲府学園運営費	14,700	b	b	有
35	社会教育課	ことぶき勸学院大学院・都留学園運営費	2,573	b	b	有
36	社会教育課	人権教育指導研修事業費	176	a	b	有
37	社会教育課	新県立図書館システム整備費	33,510	b	b	
38	スポーツ健康課	生涯スポーツ情報発信事業費	785	b	a	有
39	スポーツ健康課	県体育協会補助金(諸スポーツ大会)	1,200	b	b	
40	スポーツ健康課	県体育協会補助金(スポーツ少年団育成事業)	856	b	b	
41	スポーツ健康課	県体育協会補助金(境川自転車競技場運営費)	11,449	a	a	
42	スポーツ健康課	県立高校体育施設開放事業費	29,220	b	b	
43	スポーツ健康課	山梨県スポーツ・レクリエーション祭開催事業費	5,458	b	b	
44	スポーツ健康課	やまなしスポーツ顕彰事業費	380	b	b	
45	スポーツ健康課	韓国忠清北道スポーツ交流事業費	3,525	b	b	有
46	スポーツ健康課	県体育協会補助金	76,900	b	b	有
47	スポーツ健康課	競技力調査費	750	b	b	
48	スポーツ健康課	県小中学校体育連盟補助金	4,640	b	b	
49	スポーツ健康課	県高等学校体育連盟補助金	15,908	b	c	
50	スポーツ健康課	国体選手派遣費等補助金	80,737	b	b	
51	スポーツ健康課	学校体育団体等関係事業補助金	7,238	b	b	
52	スポーツ健康課	運動部活動外部指導者派遣事業費	3,540	b	b	
53	スポーツ健康課	各種大会への指導者派遣事業費	584	b	b	
54	スポーツ健康課	保健大会等事業費	190	b	b	有
55	スポーツ健康課	学校給食大会費	115	b	b	有

No.	担当課	細事業名	H22当初 予算額 (千円)	活動量と 成果の判断		見直しの 必要性
				活動量	成果	有無
56	学術文化財課	各種研修会・研究会への出席・派遣費	364	d	b	有
57	学術文化財課	国・県指定文化財の管理指導・研修費	2,311	b	b	
58	学術文化財課	カモシカ生育調査費(南アルプス)	1,126	b	b	
59	学術文化財課	カモシカ生育調査費(関東山地)	1,173	b	b	
60	学術文化財課	教育普及事業費(俳句創作プログラム)	130	c	b	有

別表2

## アドバイザー評価(事務事業)結果一覧

区分		活動量と成果の判断		見直しの必要性		
		活動量	成果	一次評価「有」	二次評価「有」	有
※( )内の比率は数値判定の基準。「活動量と成果の判断」は、数値判定に対し、更に担当課室が各種要因等(例:イベント当日の天候)を総合的に勘案し、aからdを選択。						
a	活動量:予定を超えた活動量がある(120%以上) 成果:意図した成果を十分に上げている(120%以上)	0	0	1 (33.3%)	2 (66.7%)	3 (100%)
b	活動量:予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) 成果:意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)	3	3			
c	活動量:予定したほど活動量がない(40%以上80%未満) 成果:意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)	0	0			
d	活動量:予定した活動量に著しく足りない(40%未満) 成果:意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)	0	0			
計		3	3			

No.	担当課	細事業名	H22当初 予算額 (千円)	活動量と成果の判断		見直しの必要性		
				活動量	成果	一次評価	二次評価	有無
1	義務教育課	児童生徒キャリア育成推進事業費	1,300	b	b		有	有
2	義務教育課	海外派遣研修(研修指導者養成)事業費	3,314	b	b	有		有
3	義務教育課	英語教員海外派遣研修(2ヶ月)事業費	1,690	b	b		有	有

## アドバイザー評価（公共施設）結果一覧

区 分		活動量と 成果の判断		見直しの必要性		
		活動量	成果	一次 評価 「有」	二次 評価 「有」	有
※（ ）内の比率は数値判定の基準。「活動量と成果の判断」は、数値判定に対し、更に担当課室が各種要因等（例：イベント当日の天候）を総合的に勘案し、aからdを選択。						
a	活動量：予定を超えた活動量がある(120%以上) 成 果：意図した成果を十分に上げている(120%以上)	0	0	3 (100%)	3 (100%)	3 (100%)
b	活動量：予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) 成 果：意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)	3	3			
c	活動量：予定したほど活動量がない(40%以上80%未満) 成 果：意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)	0	0			
d	活動量：予定した活動量に著しく足りない(40%未満) 成 果：意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)	0	0			
計		3	3			

No.	担当課	施設名	活動量と 成果の判断		見直しの必要性		
			活動量	成果	一次 評価	二次 評価	有無
1	学術文化財課	美術館	b	b	有	有	有
2	学術文化財課	博物館	b	b	有	有	有
3	学術文化財課	考古博物館	b	b	有	有	有



### 第3 「やまなしの教育振興プラン」について

少子高齢化・核家族化、価値観の多様化など、教育を取り巻く環境が大きく変化する中、国においては、平成18年12月に教育基本法がおよそ60年ぶりに改正され、平成19年6月には、いわゆる教育関連三法が改正されるなど、教育の枠組みが大きく変わりました。

一方、本県においても、平成19年12月に策定された「チャレンジ山梨行動計画」において、人づくりは県政の基本であるとの認識の下、『はぐくむやまなし』の実現に向けた教育に関する諸施策が示されました。

こうした状況を踏まえ、県教育委員会では、平成21年2月、本県教育振興の基本計画である『やまなしの教育振興プラン』を策定し、教育の諸課題に取り組んでいるところであります。

このプランでは、平成21年度から平成25年度までの5年間を計画期間とし、「ふるさとを愛し、世界に通じる人づくり」の基本理念の下、「個性を生かし、生きる力をはぐくむ『やまなし』人づくり」、「豊かで潤いがあり、明るく活力に満ちた『やまなし』社会づくり」を基本目標とし、これを達成するための5つの施策の柱と、重点的に取り組む6つの施策、目標となる指標などを設定しています。

今年度は、この計画期間の1年目の点検・評価を行いました。この結果を踏まえ、今後の施策の見直しや事業の充実に努めて参ります。

# 1 「やまなしの教育振興プラン」の施策体系と主な事業

『ふるさとを愛し、世界に通じる人づくり』の基本理念の下、次の2つを基本目標として「やまなし」の教育の振興を図ります。

個性を生かし、生きる力をはぐくむ「やまなし」人づくり

豊かで潤いがあり、明るく活力に満ちた「やまなし」社会づくり

さらに、基本目標を達成するため、家庭、地域、学校や行政等、社会全体で取り組む『横』の連携と、幼児教育から小・中・高等学校、大学等、さらには社会生活への発達段階に応じた『縦』の接続とに留意しつつ、諸施策の中で、特に次の施策について重点的に取り組みます。

- 1 夢をはぐくみ、自立して生きていく力を培う「体系的なキャリア教育の推進」
- 2 みんなで、子どもを見守りはぐくむ「地域全体で取り組む教育の推進」
- 3 考え抜く力とやる気をはぐくむ「確かな学力の育成」
- 4 自他への思いやりや情操をはぐくむ「豊かな心の育成」
- 5 健康でたくましく生きる基盤を培う「健やかな体の育成」
- 6 豊かで生きがいのある生活を支える「文化の振興」

施策の柱	施策	事業名	
学校教育の充実	体系的なキャリア教育の推進	体系的学習プログラムの開発と実践	<義務教育課> 児童生徒キャリア育成推進事業費
		幼小中高連携による一貫した進路指導の推進	<高校教育課> 地域連携ものづくり人材育成事業費 食・くらしを支える専門的職業人育成事業費 スーパー専門高校モデル事業費 新産業技術等職業高校教員研修事業費 高校生インターンシップ推進事業費
		職業教育・ものづくり教育の推進	
		キャリア教育に関する指導力の向上	
		キャリア教育の理解と実践	
		企業や関係機関との連携	
	確かな学力の育成	各学校段階に応じた学習指導の充実	<義務教育課> いきいき教育地域人材活用推進事業費 社会生活に生きる読解力向上推進事業費 国立教育政策研究所指定校事業費 教育課程研究費
		基礎的・基本的な知識や技能の定着	
		思考力・判断力・表現力等の育成	<高校教育課> 自ら学ぶ学校図書館活用事業費 夢をはぐくむ体験活動サポート事業費
		国語力等の向上	
		個性を生かす教育の充実	<総合教育センター> 教育研修費(再掲) 教育研究費
		学ぶ意欲を引き出す学習評価の確立	
		学習習慣の確立	
		総合的な学習の時間の充実	
		校種間連携の推進	

施策の柱	施策	事業名
学校教育の充実	豊かな心の育成 道徳教育の推進	<義務教育課> いきいき教育地域人材活用推進事業費(再掲) 国立教育政策研究所指定校事業費(再掲) 社会生活に生きる読解力向上推進事業費(再掲) ふるさと山梨郷土学習推進事業費 生徒指導費 いじめ・不登校対策事業費 やまなし心づくり推進事業費
	豊かな体験活動の推進	<高校教育課> 夢をはぐくむ体験活動サポート事業費(再掲) 高等学校文化活動助成費 自ら学ぶ学校図書館活用事業費(再掲)
	伝統文化・文化芸術に関する教育や文化部活動の充実	巡回教育相談 生徒指導費 <社会教育課> フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」 開催事業費
	読書活動の推進と拡充	子どもの読書活動推進事業費 環境浄化推進事業費(再掲)
	いじめ問題への取組の充実	<学術文化財課> 美術館事業費(教育普及)(再掲) 博物館事業費(教育普及)(再掲) 考古博物館事業費(教育普及)(再掲) 文学館事業費(教育普及)(再掲)
	不登校問題への取組の充実	県立文化施設共通事業費 <総合教育センター> 教育研修費(再掲) 教育相談事業費
	問題行動への取組の充実	適応指導教室運営費(義務教育課)
	健やかな体の育成 学校体育・スポーツの充実	<スポーツ健康課> 「体づくり運動」実技指導者講習会事業費 健康・体力づくり実践事業 小学校教員体育実技講習会事業費 中・高等学校体育実技指導者講習会事業費 学校体育研究会事業費 運動部活動外部指導者派遣事業費 各種大会への指導者派遣事業費 中学校武道・ダンス地域連携指導実践事業費 学校体育団体等関係事業補助金
	健康・安全教育の推進	健康教育指導者研修会事業費 学校保健推進費 学校給食推進費 夜間定時制給食費
	食育の推進	
特別支援教育の充実	特別支援学校の充実	<新しい学校づくり推進室> 特別支援教育推進費
	幼稚園及びすべての学校における支援体制の整備と保育所との連携	交流・共同学習指導費 特別支援学校児童生徒就学奨励費
	就学指導の充実	<総合教育センター> 特別支援学校教職員研修等事業費
	自立と社会参加の促進	障害のある子どものための教育相談事業費

施策の柱	施策	事業名
学校教育の充実	時代の要請に応える教育の推進	<p>&lt;義務教育課&gt; いきいき教育地域人材活用推進事業費(再掲) 児童生徒キャリア育成推進事業費(再掲) エネルギー教育推進事業費 帰国子女等教育指導費 いじめ・不登校対策事業費(再掲) やまなし心づくり推進事業費(再掲) 小学校理科支援員等配置事業費</p> <p>&lt;高校教育課&gt; エネルギー教育推進事業費 県立学校教育情報化推進事業費 教育情報ネットワーク整備事業費 夢をはぐくむ体験活動サポート事業費(再掲) 語学指導等を行う外国青年招致事業費</p> <p>&lt;総合教育センター&gt; 教育研修費(再掲)</p> <p>&lt;社会教育課&gt; 人権教育推進事業費 環境浄化推進事業費 内閣府青年国際交流事業費</p>
	青少年を有害環境から守るための取組の推進	
	環境教育の充実	
	人権教育・男女平等教育の充実	
	福祉教育の充実	
	理数教育の充実	
	情報教育の充実	
	国際理解の推進とコミュニケーション能力の育成	
学校教育の環境整備	外国人児童生徒等教育の推進	
	高大連携の推進	
	学校教育の環境整備	<p>&lt;学校施設課&gt; 産業教育設備整備費 理科教育設備整備費 高等学校教材設備近代化事業費 専門高校情報教育機器更新事業費 改築高等学校設備整備事業費 高等学校設備整備事業費(総合学科等) 笛吹高等学校建設事業費 耐震補強・大規模改修費 中央高等学校建設事業費 太陽光発電設備率先導入事業費 高校施設整備事業費 甲府支援学校等施設整備費</p>
	学校施設の充実	
	優れた人材の確保と教職員の適正配置	<p>&lt;義務教育課&gt; 海外派遣研修費 初任者研修費 指導者研修費 教育課程研究費(再掲) 教育職員免許検定費 学校教育指導費 教員の資質能力向上推進事業費 教職員人事給与管理費</p>
	教員免許更新制の円滑な実施	
	教職員の資質向上	
	指導が不適切な教員の人事管理システムの推進	
	学校運営システムの充実	<p>&lt;高校教育課&gt; 初任者研修費 新産業技術等職業高校教員研修事業費(再掲) 交通被災遺児就学奨励費補助金 育英奨学金貸付金補助金 定時制課程等修学奨励費</p>
	就学の奨励	<p>&lt;新しい学校づくり推進室&gt; 新しい高校づくり推進事業費</p>
学校現場の創意工夫による取組への支援	<p>&lt;総合教育センター&gt; 教育研修費 教育研究費(再掲) 特別支援学校教職員研修等事業費(再掲)</p> <p>&lt;私学文書課&gt; 私立学校運営費補助金 私立高等学校授業料減免補助金 私立幼稚園障害児就園事業補助金</p>	

施策の柱	施策	事業名
学校教育の充実	高等教育の振興	県と大学との連携の推進
		産学官連携事業の推進
		大学間連携の推進
		県立大学への公立大学法人制度の導入
家庭・地域・学校の連携	幼児教育・家庭教育への支援	幼児教育への支援
		子育てに関する学習機会の充実
		子育てに関する相談体制の充実
		人材の育成・確保・活用
地域全体で取り組む教育の推進	地域住民による学校支援体制の整備	地域住民による学校支援体制の整備
		体験活動推進体制の整備
		地域活動への子どもの参加促進
		地域のボランティア等との連携による学校内外の安全確保
		子どもの読書活動支援
		放課後や週末の子どもたちの体験・交流活動等の場づくり
		開かれた学校づくりの推進
生涯学習の推進	生涯学習推進体制の充実	生涯学習推進体制の充実
		学習情報の提供の充実
		普及啓発の充実
		生涯学習活動の指導者養成

<企画課>  
山梨大学・山梨県連携推進協議会  
連携事業検討会議  
地域技術事業化推進会議

<私学文書課>  
公立大学法人評価委員会運営費

<義務教育課>  
幼児教育振興事業費  
やまなし心づくり推進事業費(再掲)

<社会教育課>  
父親を考えるフォーラム開催事業費  
幼児教育放送「子育て日記」放映事業費  
子育て支援リーダー養成事業費  
子育て相談総合窓口設置事業費

<総合教育センター>  
障害のある子どものための教育相談事業費(再掲)

<義務教育課>  
いきいき教育地域人材活用推進事業費(再掲)  
やまなし心づくり推進事業費(再掲)

<社会教育課>  
やまなし学校応援団育成事業費  
やまなし若者地域活性化プロジェクト推進事業費  
青少年センター費  
八ヶ岳少年自然の家運営費  
なかとみ青少年自然の里運営費  
ゆずりはら青少年自然の里運営費  
子どもクラブ活性化事業費補助金  
子どもの読書活動推進事業費  
放課後子どもプラン推進事業費  
地域教育連携事業費  
青少年育成山梨県民会議助成費

<スポーツ健康課>  
地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費

<生涯学習文化課>  
生涯学習推進事業費  
生涯学習情報提供事業費  
生涯学習推進センター運営費(情報の提供・相談事業、普及啓発事業、指導者等養成事業)  
キャンパスネットやまなし運営費(再掲)

<社会教育課>  
社会教育指導者養成事業費

施策の柱	施策	事業名
生涯学習の推進	多様な生涯学習機会の提供	<p>&lt;生涯学習文化課&gt;            県民コミュニティカレッジ事業            生涯学習推進センター運営費(学習機会の提供事業、山梨のアイデンティティ形成事業、サテライトスクール事業)            キャンパスネットやまなし運営費            生涯学習情報提供事業費(再掲)</p>
	現代的な課題に対応した学習機会の提供	<p>&lt;社会教育課&gt;            やまなし女性国際セミナー開催事業費            山梨ことぶき勸学院運営費(再掲)            人権教育促進事業費</p>
	身近な学習機会の充実	<p>&lt;学術文化財課&gt;            美術館事業費(教育普及)(再掲)            博物館事業費(教育普及)(再掲)            考古博物館事業費(教育普及)(再掲)            文学館事業費(教育普及)(再掲)            埋蔵文化財学習活用事業費            県立文化施設共通事業費(再掲)</p>
	郷土を学ぶ機会の充実	
	ICTを活用した学習機会の充実	
学習成果の活用支援	学習意欲を促す学習成果の評価	<p>&lt;生涯学習文化課&gt;            キャンパスネットやまなし運営費(再掲)            生涯学習情報提供事業費(再掲)            生涯学習推進センター運営費(学習成果活用事業)</p>
	学習成果を生かした社会参加活動の促進	<p>&lt;社会教育課&gt;            子育て支援リーダー養成事業費(再掲)            やまなし学校応援団育成事業費(再掲)            放課後子どもプラン推進事業費(再掲)            山梨ことぶき勸学院運営費(再掲)</p>
	地域人材の活用支援	
生涯学習環境の充実	生涯学習施設・体制の充実	<p>&lt;社会教育課&gt;            図書館情報ネットワークシステム運営費            社会教育関係団体活性化事業費補助金            山梨ことぶき勸学院運営費            科学館運営費</p>
	生涯学習コンテンツの充実	<p>&lt;新図書館建設室&gt;            新県立図書館整備事業費</p>
スポーツの振興	生涯スポーツの振興	<p>&lt;スポーツ健康課&gt;            広域スポーツセンター運営事業費            地域スポーツ推進人材育成・派遣事業費            山梨県スポーツレクリエーション祭実行委員会助成費            いきいき山梨ねんりんピック実行委員会事業費補助金            中国四川省スポーツ交流事業費            韓国忠清北道スポーツ交流事業費            体育協会助成費            市町村・社会体育関係団体指導事業費            生涯スポーツ情報発信事業費            県立高校施設開放事業費            小瀬スポーツ公園整備・改修費</p>
	総合型地域スポーツクラブの設立・育成	
	広域スポーツセンターの充実	
	参加機会の充実	
	指導者等の養成・確保・活用	
	スポーツ施設の利用拡大・充実	
スポーツ情報提供システムの充実		

施策の柱	施策	事業名		
スポーツの振興	競技スポーツの振興	優秀選手の育成・強化	<スポーツ健康課> 競技力向上費 小中学校体育連盟補助金 高等学校体育連盟補助金 県体育協会補助金(スポーツ医・科学補助事業) 国民体育大会選手派遣費 中国四川省スポーツ交流事業費(再掲) 韓国忠清北道スポーツ交流事業費(再掲) グローイング山梨ジュニアアスリート推進事業 やまなしスポーツ顕彰事業費	
	スポーツ医・科学の活用	スポーツ交流の推進		
	一貫指導体制の推進	競技力向上を図る指導者の養成		
	優秀選手等の表彰	セカンドキャリア支援の検討		
	文化芸術に親しむ 機会の充実	優れた舞台芸術鑑賞機会の充実		<生涯学習文化課> 県民文化ホール運営管理費 山梨芸術劇場開催費 巡回児童劇場開催費 地域文化施設連携事業費補助金  <学術文化財課> 美術館事業費 博物館事業費 考古博物館事業費 文学館事業費 ミュージアム甲斐・ネットワーク事業費 県立文化施設共通事業費(再掲)
	地域における鑑賞機会の提供	美術館等における魅力ある企画展の開催		
	文化施設等の連携強化	文化活動への支援		
やまなし文学賞の授与	文化芸術の教育普及活動の充実			
文化ボランティアの育成	発表機会の充実			
文化芸術団体への支援	文化芸術団体への支援			
国民文化祭の開催	文化財の保存と継承	<学術文化財課> 甲府城跡櫓門整備事業費 文化財保護調査費 文化財保存事業費補助金 埋蔵文化財調査費 歴史資料等収集費 無形民俗文化財保存事業費		
有形文化財の保存・修理・活用	史跡・名勝・天然記念物の保存と活用			
埋蔵文化財の調査	甲斐風土記の丘の整備			
富士山の文化的価値の啓発	民俗文化財の保存と継承			
民俗文化財の保存と継承	伝統技術等の保存と継承			

## 2 「やまなしの教育振興プラン」の進捗状況

### (1) 進捗率の計算方法

$$\frac{(\text{平成21年度の現況値}) - (\text{平成19年度の現況値})}{(\text{平成25年度の目標値}) - (\text{平成19年度の現況値})} \times 100$$

### (2) 進捗状況

プランに掲げた目標となる指標80項目の進捗状況(事業廃止等の10項目を除く)

進 捗 率	項目数	比率
100%以上	12	15.0
60%以上100%未満	16	20.0
40%以上60%未満	12	15.0
20%以上40%未満	15	18.8
0%以上20%未満	13	16.3
0%未満	12	15.0
計	80	

### (3) 主な項目の状況

#### ① 進捗率の高いもの

「いじめの認知件数(減少数)」	341.2 % (小学校)
「不登校児童生徒の人数(減少数)」	228.6 % (小学校)
「個別の指導計画を作成している小中学校の割合」	177.3 % (小学校)

#### ② 進捗率の低いもの

「授業以外で週3日以上運動・スポーツを実施している小学生の割合」	△1.8 %
「一日当たり読書を「全くしない」と答えた児童生徒の割合」	△1.9 % (小学校)
「暴力行為の件数(減少数)」	△135.6 % (中学校)



## (4)各指標の進捗状況

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H21年度の 現況値	進捗率 %
◆ 学校教育の充実						
体系的なキャリア教育の推進	夢や目標を持っている状況	・「全国学力・学習状況調査」における「将来の夢や目標を持っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 86.7 %	小 90 %	小 89.0 %	69.7
			中 73.0 %	中 80 %	中 75.3 %	32.9
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「将来の夢や目標を持っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	高 70.4 %	高 80 %	高 — %	H21年度調査廃止
	インターンシップの実施状況	・就業体験を実施している高校の割合	高 65.6 %	高 80 %	高 62.5 %	-21.5
	企業実習への参加状況	・企業等で実習体験をしている生徒の数	高 150 人	高 300 人	高 665 人	343.3
	技術研修への参加状況	・企業等の研修に参加した教員の数	高 162 人	高 180 人	高 185 人	127.8
確かな学力の育成	国語についての理解の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「国語の授業の内容はよくわかる」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 81.8 %	小 90 %	小 85.1 %	40.2
			中 72.1 %	中 80 %	中 75.0 %	36.7
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「国語の勉強がどの程度分かるか」の設問に「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した生徒の割合	高 57.7 %	高 70 %	高 — %	H21年度調査廃止
	算数(数学)についての理解の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「算数(数学)の授業の内容はよくわかる」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 79.2 %	小 90 %	小 82.5 %	30.6
		中 62.1 %	中 70 %	中 64.4 %	29.1	
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「数学の勉強がどの程度分かるか」の設問に「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した生徒の割合	高 51.3 %	高 70 %	高 — %	H21年度調査廃止

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H21年度の 現況値	進捗率 %
確かな学力の育成	英語についての理解状況	・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「英語の勉強がどの程度分かるか」の設問に「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した生徒の割合	高 45.5 %	高 60 %	高 — %	H21年度調査廃止
	評価規準の整備状況	・学習指導要領に示された目標に沿った指導と評価を実践するために、各教科毎に学力を観点別にとらえた評価規準を整備している学校の割合	小 91.2 %	100 %	小 98.0 %	77.3
			中 89.6 %		中 97.8 %	78.8
			高 92.5 %		高 96.3 %	50.7
	家庭学習の取組状況	・「全国学力・学習状況調査」における「学校の授業時間以外に普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか」の設問に「全くしていない」と答えた児童生徒の割合	小 3.6 %	小 2 %	小 3.5 %	6.3
			中 9.3 %	中 5 %	中 8.7 %	14.0
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「学校の授業以外に、1日だいたいどのくらい勉強しますか」の設問に「全く、または、ほとんどしない」と答えた生徒の割合	高 28.2 %	高 15 %	高 — %	H21年度調査廃止
	「総合的な学習時間」への興味の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「総合的な学習の時間の勉強は好きですか」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童生徒の割合	小 82.4 %	小 90 %	小 82.1 %	-3.9
			中 68.5 %	中 80 %	中 71.5 %	26.1
	校種間連携の状況	・教員や生徒により小中学生への授業等を実施している高校の割合	高 62.1 %	高 80 %	高 58.6 %	-19.6

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H21年度の 現況値	進捗率 %
豊かな心の育成	規範意識の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまりを守っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 88.8 %	90 %	小 91.0 %	183.3
			中 87.1 %		中 89.5 %	82.8
		・「山梨県高等学校教育課程実施状況調査」における「学校の規則を守っている」の設問に、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合	高 85.2 %		高 — %	H21年度調査廃止
	道徳教育の推進状況	・道徳の授業を地域住民や保護者に公開している学校の割合	小 34.8 中 27.1	70 %	小 44.5 中 39.8	27.6 29.6
	思いやりの心の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「人が困っているときは、進んで助けている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 82.4 %	90 %	小 83.6 %	15.8
			中 77.6 %		中 79.9 %	18.5
	豊かな体験活動状況	・「全国学力・学習状況調査」における「海、山、湖、川などで遊んだ経験がある」の設問に「何度もあった」「時々あった」と回答した児童の割合(小学校)	小 84.8 %	90 %	小 — %	H21年度調査項目から削除
		・「全国学力・学習状況調査」における「海、山、湖、川などに行き、自然の素晴らしさを感じた経験がある」の設問に「何度もあった」「時々あった」と回答した生徒の割合(中学校)	中 86.4 %		中 — %	H21年度調査項目から削除
	高校芸術文化祭への参加状況	・文化部の活動を充実させるために行われている高校芸術文化祭への参加者数	18,416 人	20,000 人	19,238 人	51.9
	いじめの状況	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「いじめの認知件数」	小 251 件	小 200 件	小 77 件	341.2
中 319 件			中 230 件	中 284 件	39.3	
高 169 件			高 100 件	高 122 件	68.1	

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H21年度の 現況値	進捗率 %	
豊かな心の育成	不登校の状況	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「不登校児童生徒」の人数	小 188 人	小 160 人	小 124 人	228.6	
			中 995 人	中 700 人	中 753 人	82.0	
			高 299 人	高 280 人	高 305 人	-31.6	
	暴力行為の状況	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「暴力行為」の件数	小 6 件	小 3 件	小 4 件	66.7	
			中 135 件	中 90 件	中 196 件	-135.6	
			高 72 件	高 50 件	高 68 件	18.2	
	読書への取組状況	・「全国学力・学習状況調査」における「家や図書館で、普段、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか」の設問に「全くしない」と答えた児童生徒の割合	小 15.4 %	小 10 %	小 15.5 %	-1.9	
			中 32.5 %	中 20 %	中 31.1 %	11.2	
			・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「学校の授業以外で1日だいたい、どのくらい読書を読みますか」の設問に「全く、または、ほとんどしない」と答えた生徒の割合	高 50.5 %	高 30 %	高 - %	H21年度調査廃止
	健やかな体の育成	運動・スポーツの実施状況	・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で授業以外で週3日以上運動・スポーツを実施している小学生(5・6年生)の割合	小 48.2 %	小 65 %	小 47.9 %	-1.8
体力・運動能力の状況		・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で小学生(5年生)のボール投げの平均値のピーク時(昭和56年)の値に対する割合	小 81.7 %	小 90 %	小 80.7 %	-12.0	
薬物乱用防止への取組状況		・薬物乱用防止教室を実施している学校の割合	中 29.2 %	中 60 %	中 42.4 %	42.9	
			高 87.5 %	高 100 %	高 97.0 %	76.0	
朝食の摂取状況		・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で児童生徒が朝食を摂取している割合	小 91 %	小 95 %	小 92.1 %	27.5	
			中 84 %	中 90 %	中 86.4 %	40.0	
			高 78.3 %	高 90 %	高 80.8 %	21.4	
食育の推進状況		・食に関する指導全体計画を作成している学校の割合	小 64.2 %		小 84.4 %	56.4	
	中 53.8 %		100 %	中 71.7 %	38.7		
	高 10.2 %			高 24.1 %	15.5		

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H21年度の 現況値	進捗率 %
特別支援教育の充実	「個別指導計画」の作成状況	・一人ひとりの児童生徒の障害の状態や発達段階等に応じた学習指導を行うための「個別の指導計画」を作成している小中学校の割合	小 57.2 % 中 39.8 %	70 %	小 79.9 % 中 73.3 %	177.3 110.9
	「個別教育支援計画」の作成状況	・一人ひとりの児童生徒の教育的ニーズに応じ、関係機関が連携して適切な指導及び必要な指導を行うための「個別の教育支援計画」を作成している小中学校の割合	小 46.2 % 中 35.7 %	70 %	小 78.4 % 中 73.4 %	135.3 109.9
	自立と社会参加の状況	・県立特別支援学校高等部の新卒生徒の就職割合	14.6 %	20 %	19.2 %	85.2
時代の要請に応える教育の推進	環境教育への取組状況	・省エネ・省資源活動等に取り組んでいる学校の割合	小 87.8 %	100 %	小 96.5 %	71.3
			中 84.4 %		中 93.5 %	58.3
			高 75.9 %		高 96.6 %	85.9
	福祉教育への取組状況	・福祉の心を培い、福祉の実践力を高めるための福祉教育に取り組む高校の割合 ※ 小・中は100%達成済	高 92 %	高 100 %	高 100.0 %	100.0
情報教育への対応状況	・コンピュータや提示装置等を活用して指導する能力を持つ教員の割合	小 56.8 %	小 70 %	小 58.2 %	10.6	
		中 56.3 %	中 70 %	中 56.4 %	0.7	
		高 64.3 %	高 80 %	高 63.0 %	-8.3	
高大連携への取組状況	・大学教員による授業を取り入れている高校の割合	高 69 %	高 80 %	高 62.1 %	-62.7	
学校教育の環境整備	学校評価及び公表への取組状況	・教育活動に係る自己評価に対する学校関係者評価を実施・公表している学校の割合	小 39.9 %	100 %	小 73.4 %	55.7
			中 43.8 %		中 75.0 %	55.5
			高 71.7 %		高 96.8 %	88.7

施策	指 標	指 標 の 概 要	H19年度 の現況値	H25年度 の目標値	H21年度 の現況値	進捗率 %
<b>◆ 家庭・地域・学校の連携</b>						
への幼児教育・ 支援教育・ 家庭教育	保・幼・小の連 携状況	・保育所や幼稚園との交流活動 を年に3回以上行った小学校の 割合	小 39 %	小 60 %	小 48.0 %	42.9
	ふれ合い体験 の実施状況	・乳幼児とのふれ合い体験を実 施している高校の割合	高 79.3 %	高 100 %	高 86.8 %	36.2
の地域 推進 全体で 取り 組む 教育	学校応援団の 取組状況	・様々な知識や技能を持つ地域 住民が学校や家庭、地域に貢 献できるための仕組みづくりに 取り組んだ市町村の割合	0	100 %	62.9 %	62.9
	開かれた学校 づくりのための 取組状況	・学校のホームページで情報提 供を行っている学校の割合 ※ 高校は100%達成済	小 62.2 % 中 60.2 %	80 %	小 78.6 % 中 68.1 %	92.1 39.9
<b>◆ 生涯学習の推進</b>						
生涯 学習 推進 体制 の 充 実	自主的な学習 活動への取組 状況	・「やまなしまナビネットワーク システム」で提供している学習機会 や人材等の学習情報へのアク セス件数	836,370 件	1,000,000 件	826,063 件	-6.3
多 機 会 の 生 涯 学 習 提 供	多様な学習活 動への取組状 況	・県、市町村、大学、民間団体 等が連携し、多様な学習機会を 提供する「キャンパスネットやま なし」に入学した人の数(累計)	3,098 人	5,000 人	3,943 人	44.4
学 習 成 果 の 活 用 支 援	学習活動に意 欲的に取り組 んでいる状況	・「キャンパスネットやまなし」に おいて所定の単位を取得し、奨 励賞を交付された学習者の数 (累計)	1,154 人	2,300 人	1,763 人	53.1
	学校応援団の 取組状況【再 掲】	・様々な知識や技能を持つ地域 住民が学校や家庭、地域に貢 献できるための仕組みづくりに 取り組んだ市町村の割合	0	100 %	62.9 %	62.9

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H21年度の 現況値	進捗率 %
◆ スポーツの振興						
生涯スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブの設置状況	・いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブを設置している県内市町村の割合	53.6 %	100 %	81.5 %	60.1
	スポーツへの取組状況	・週1回以上スポーツを実施している成人の割合	32.4 %	50 %	— %	H21年度調査なし
競技スポーツの振興	競技レベルの状況	・国民体育大会における個人、団体の上位8位以内の入賞数	83 人・団体	100 人・団体	80 人・団体	-17.6
	アンチ・ドーピングへの取組状況	・選手、指導者がアンチ・ドーピングへの意識啓発のための講習会に参加している県内競技団体の割合	70 %	100 %	70.0 %	0
	一貫指導体制の推進状況	・トップレベルの競技者の養成・確保のための一貫指導体制を確立している競技団体の割合	55 %	100 %	55.0 %	0
◆ 文化の振興						
文化会場の充実	舞台芸術公演への県民の参加状況	・県民文化ホールで開催した主催事業への入場者数	17,951 人	20,000 人	26,796 人	431.7
文化活動への支援	博学連携の実施状況	・県立博物館と連携して教育活動を行っている学校の割合	小 40 % 中 34 % 高 31 %	50 %	小 43.2 % 中 35.8 % 高 31.0 %	32.0 11.3 0
	県民文化祭への参加状況	・県民の文化芸術活動の発表及びその鑑賞の場である県民文化祭への参加者数	218,973 人	222,000 人	241,806 人	754.3
文化財の継承	文化財の保存・活用状況	・県内の国・県指定文化財の件数	660 件	690 件	667 件	23.3

